

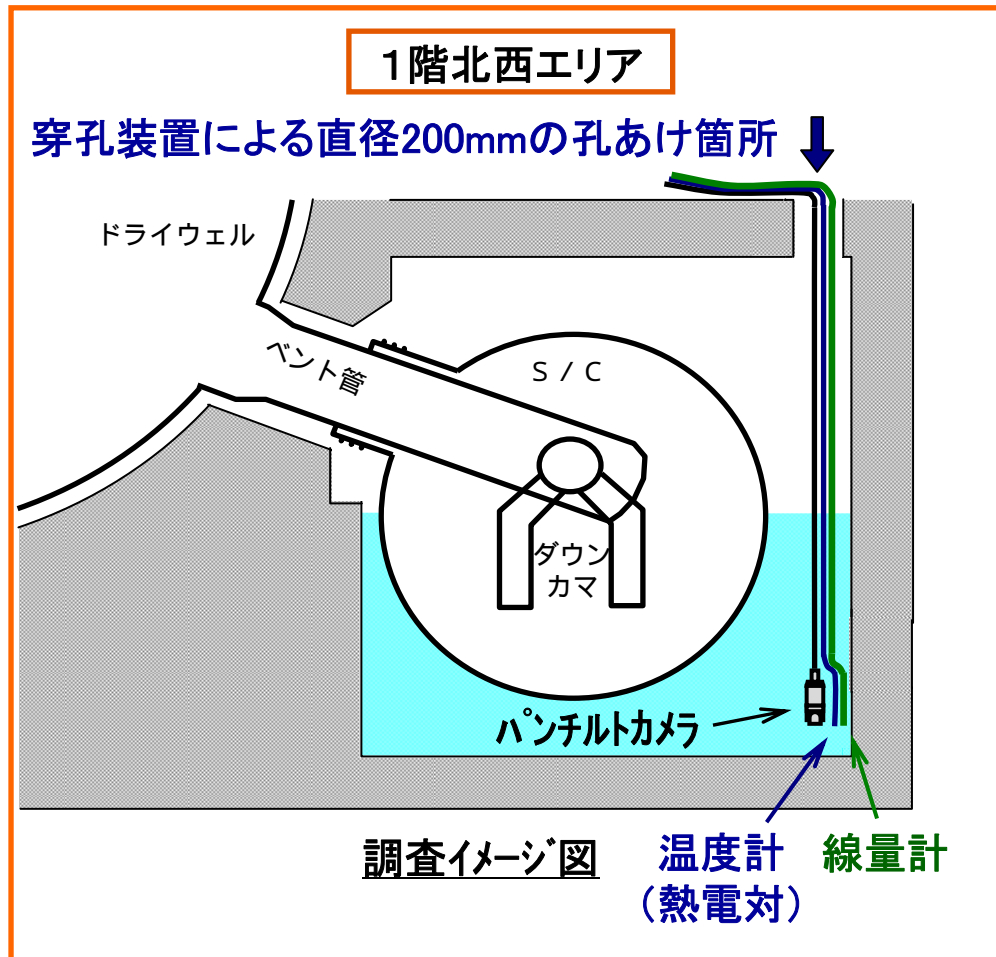
<参考資料>

福島第一原子力発電所 1号機トーラス室調査(1日目)について

平成25年2月20日
東京電力株式会社

1. 調査方法(温度・線量・カメラ)

原子炉建屋1階北西床面にあけた直径200mmの孔より、温度計・線量計・カメラを挿入しトラス室内の調査を実施。



調査実施項目

温度測定(雰囲気・滞留水)

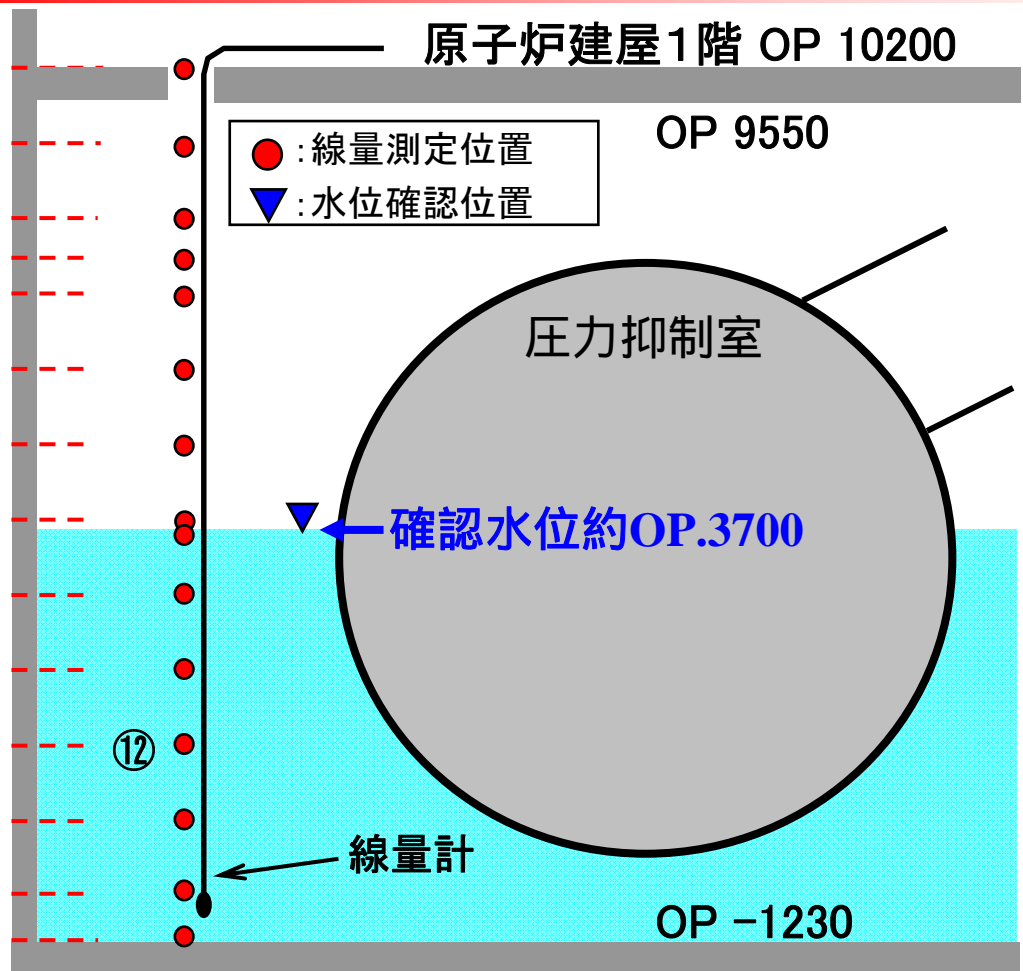
線量測定(雰囲気・滞留水)

画像取得(トラス室内)

<作業実績>

作業人数 20名
 作業時間 9:50~12:15
 被ばく線量 最大:1.78mSv

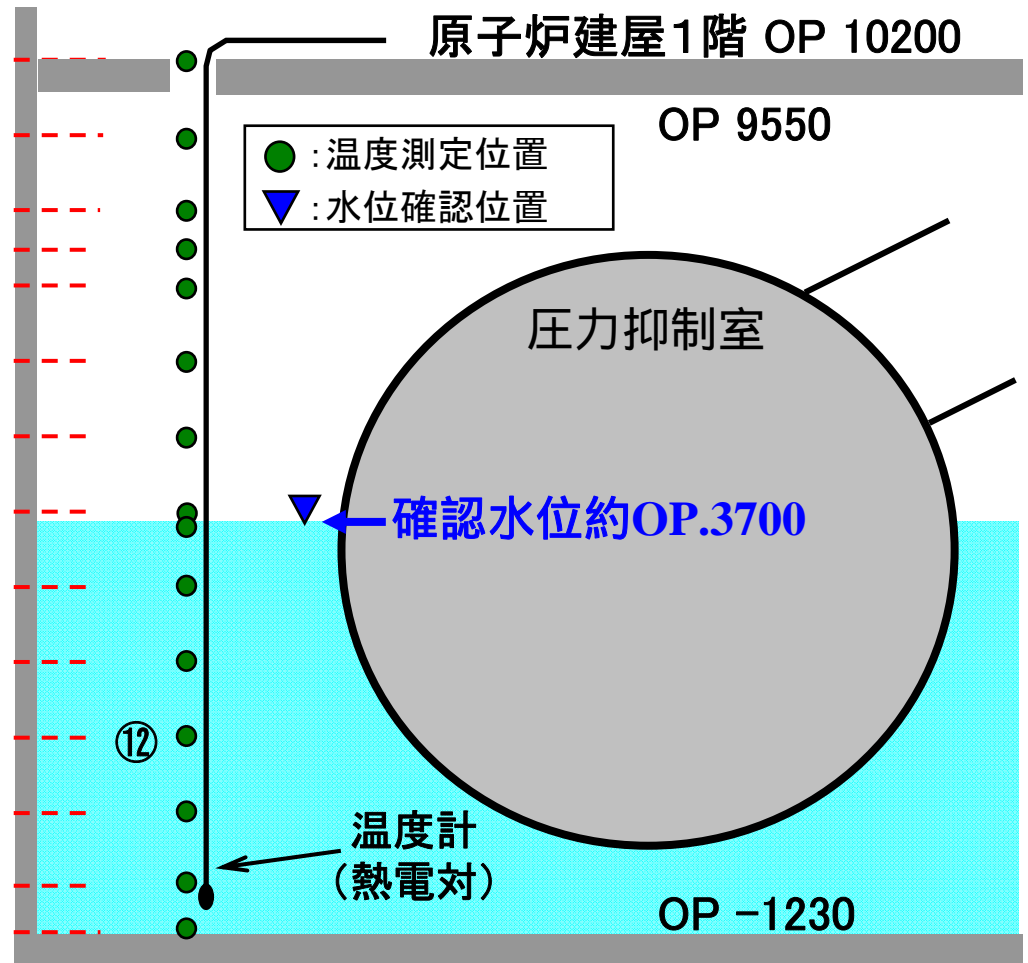
2. 測定結果(線量)



- ・約1m毎の線量を採取
- ・最大線量は、水位上部の920mSv/hであった。

位置		線量 【mSv/h】
①	OP.10200	1.5
②	OP.9200	180
③	OP.8200	220
④	OP.7700	230
⑤	OP.7200	250
⑥	OP.6200	420
⑦	OP.5200	780
⑧	OP.4200	920
⑨	水位:約OP.3700	800
⑩	OP.3200	110
⑪	OP.2200	93
⑫	OP.1200	83
⑬	OP. 200	82
⑭	OP. -800	90
⑮	OP.-1230	95

3. 測定結果(温度)



位置		温度 [°C]
①	OP.10200	4. 8
②	OP.9200	16. 3
③	OP.8200	17. 4
④	OP.7700	17. 3
⑤	OP.7200	16. 9
⑥	OP.6200	17. 1
⑦	OP.5200	17. 4
⑧	OP.4200	17. 7
⑨	水位: 約OP.3700	19. 8
⑩	OP.3200	22. 7
⑪	OP.2200	22. 9
⑫	OP.1200	22. 9
⑬	OP. 200	22. 9
⑭	OP. -800	22. 8
⑮	OP.-1230	22. 8

- ・約1m毎の温度を採取
- ・気中温度は約17°C, 水中温度は約23°C程度であった。

4. カメラ画像結果

○滞留水水位

約OP.3700(深さ:約4.9m)であることを確認。

○滞留水透明度

約60cm程度の透明度であることを確認。

○トーラス室内構造物について

画像から確認できる範囲では、さび等は確認されたものの、
構造物に大きな破損は確認されなかった。
詳細評価は、今後実施。